28年度中央ケアセンターショートステイ事業報告

平成29年5月25日

28年度　短期入所生活介護管理者　田村薫

実績報告

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ２８年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 売り上げ(MP)（千円） | 8,562  | 8,847  | 8,562  | 8,847  | 8,847  | 8,562  | 8,847  | 8,562  | 8,847  | 8,847  | 7,991  | 8,847  |
| 売り上げ(実績）（千円） | 7,910  | 8,190  | 8,316  | 8,701  | 8,412  | 8,176  | 7,821  | 7,495  | 7,040  | 7,411  | 6,826  | 6,938  |
| 売り上げ(前年度）（千円） | 7,748  | 8,450  | 8,595  | 9,289  | 9,004  | 8,544  | 8,337  | 9,052  | 8,407  | 8,470  | 8,118  | 8,430  |
| 稼働率（％） | 83.2 | 87.1 | 83.6 | 87.9 | 87.1 | 82.1 | 79.0 | 78.6 | 75.2 | 75.1 | 76.5 | 72.5 |
| 利用率（％） | 100.5 | 105.1 | 100.6 | 104.3 | 104.9 | 100 | 95.5 | 94.3 | 90.3 | 90 | 92.3 | 88.3 |
| 1日平均利用（人） | 17.5 | 18.3 | 17.5 | 18.5 | 18.3 | 17.2 | 16.6 | 16 | 15.3 | 15.3 | 16.1 | 15.2 |
| 平均介護度 | 3.32 | 3.21 | 3.41 | 2.97 | 3.36 | 3.47 | 3.38 | 3.29 | 3.28 | 3.47 | 3.5 | 3.1 |
| 退職者数 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 |
| 入職者数 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

数値目標に対して

総評： 予定に対し大きく乖離してしまった。

原因としては人員不足にて管理者が現場に入り込んでしまったこと、また相談員との連携が円滑に取れず受け入れ態勢がとれなかったため。

＜目標別達成状況＞

1. レスパイトイメージの払拭：通所介護との連携で理学療法士のリハビリを行ってもらい、ショートステイにおける機能低下のイメージを防止した。
2. レクリエーションの強化：レクリエーション自体は前年度とほとんど変更なしで執り行ったが、リハビリを交えながら行うことで利用者様の満足につなげることができた。
3. 営業強化：人員不足にて管理者がほとんど現場に入ってしまう状況であったため予定通りの営業活動が行えなかった。

運営目標に対して

総評： 年度初めより人員不足及び前年度退職者の影響等の理由にて、職員全体のモチベーションが低下していた。

また、リーダークラスを筆頭に各職位の責務に対する理解が不十分であったが、研修及び面談を通じて理解が進んだ。さらに会議等の実施方法見直し等を行うことにより、以前よりも対話を進めやすい状態になった。しかしながら各職位においてまだ十分なスキルを有していないため、今後も育成に力を置き職員の成長を行っていく必要があると感じている。

＜重点項目実施内容＞

1. 業務効率化：

負担軽減のため、ショートステイ会議にて荷物預かりの方法を再検討し改善した

1. 人員の安定化：

外部でのリーダー研修及び外部講師を招いての介護技術研修を行い、スキル向上とともにチームとしてのボトムアップができる体制を整えた

中途採用者及び派遣入職者への育成方法を見直し、働きやすい環境作りに務めた

1. 人員の質の向上：

会議の質を向上させるため、会議におけるルールを設けた

中堅クラスを軸に面談を都度行い、業務に対するモチベーションアップを図った